

製剤機械技術 テーマに講演

来月、静岡で学会大会

製剤機械技術学会の第21回大会（実行委員長・板井茂県立大教授）が10月13、14日、静岡市駿河区谷田の県立大で開かれる。「優れた医薬品を創出する製剤機械技術―新たな10年への展望」をテーマに、特別講演や一般講演が行われる。全国から大学の研究者や製薬、製剤機械、添加剤、計測機械の各メーカーの関係

者ら約200人が参加する予定。

同学会は、1日に任意団体の研究会から、20年の実績を踏まえて一般社団法人に移行した。県内での大会開催は研究会当時を通じ初めて。プログラムの詳細は大会ホームページ（<http://www.seikiken.or.jp/taikai/index.html>）に掲載している。非会員の参加費は2万円（講演要旨集代含む）。申し込みは学会事務局へ電03(3252)3048へ。